秋穂放牧利用グループによる山口型放牧で農地管理

山口農林事務所畜産部
平成21年8月11日

平成21年８月６日、「秋穂放牧利用グループ」が山口市秋穂西で山口型放牧を開始。

今回牛を放牧した水田は、これまで「菜の花」を植えていたが、高齢化等により管理が難しくなったことから、農地管理がより省力的に可能な「山口型放牧」に初めて取り組んだもので、今年手始めに２戸の農家が実証展示として開始する。

放牧牛は農林総合技術センター畜産技術部から２頭を借り受け、また同センター畜産技術部職員の指導の下に人工の日陰を設け放牧を開始した。

取り組んだ農家は、牛の力を借りて省力的に農地を管理できれば、この地域でも放牧が広がっていくではないかと期待している。

秋穂放牧開始